



神田日勝(1937-1970)は、1945年8月、終戦直前に東京から拓北農兵隊の一員として北海道鹿追村に疎開し、農民として画家として激動の時代を生きました。厳しく過酷な開拓者の日常を背負いながら、たくましく成長した画家は、やがて一人の人間として激動する社会の中で人間性を追求し、「あの真っ白なキャンパスの上に、確かな生命の痕跡を残したい」と、自らの生きざまを作品に描きこみ、画風に驚くほどの変遷を経ながら、リアリズムの画法を独自に切り拓いていきました。厳しい開拓の労働の寸暇を惜しんで、地元の平原社展、全道展、そして独立展を中心に積極的に応募し、瞬く間に地元十勝でその名を轟かせつつありましたが、1970年8月、あまりにも突然に病魔に倒れたのです。

鹿追町立神田日勝記念美術館は、わずか32歳の若さで生涯を閉じた画家の死を悼む多くのファン熱意と長年の建設運動が実を結び、1993年6月に「神田日勝記念館」として美術館の第一歩を踏み出しました。

当館オープン以来、広く北海道内外の美術作家展をはじめ、各種事業を展開してきましたが、2019年にはNHKの連続テレビ小説「なつぞら」に登場する青年画家「山田天陽」のモチーフとされたこともあり、全国的に存在が知られるところとなりました。作家没後50年を経て、作品と共にのこされた著述文からは、今なお生きること・描くことへの深い洞察の姿を感じ取っていただけるものと思います。

代表作《馬(絶筆・未完)》は、鑑賞者の心に声なき声を囁きかけていますが、日勝作品の展示はもとより、美術館相互の事業連携の機運が高まっている時代にあって、改めて地域の芸術文化活動の拠点として多くの皆様に親しんでいただき、新たな時代の新たな美術館の在りようを模索しながら、未来志向の運営を心がけています。

2022年 神田日勝記念美術館館長

休館日カレンダー

2022 4							2022 5							2022 6							2022 7						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
							1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4				1	2	3	4			
3	4	5	6	7	8	9	8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11	3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16	15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18	10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23	22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25	17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30	29	30	31					26	27	28	29	30			24	25	26	27	28	29	30

2022 8							2022 9							2022 10							2022 11						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6																1	2	3	4	5		
7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10	2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12
14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17	9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19
21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24	16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26
28	29	30	31				25	26	27	28	29	30		23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30			
														30	31												

2022 12							2023 1							2023 2							2023 3						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
							1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4				1	2	3	4			
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11	5	6	7	8	9	10	11
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18	12	13	14	15	16	17	18
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25	19	20	21	22	23	24	25
25	26	27	28	29	30	31	29	30	31					26	27	28					26	27	28	29	30	31	



開館時間
10:00~17:00
(最終入場16:30)

観覧料
1.通常券
一般 530(470)円
高校生 320(260)円
小中学生 210(150)円
未就学児無料

* ()内は10名以上の団体割引料金
*障がい者手帳(療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、身体障害者手帳)持参の方は無料
(介添者1名無料)

2.福原記念美術館との
共通入館券
一般 700円
高校生 300円
小中学生 200円

アクセス
1.帯広市内から
バス
JR帯広駅バスターミナル④番乗り場から北海道拓殖バス51・52・53系統「鹿追・新得・然別湖線」乗車、「神田日勝記念美術館前」下車(所要時間1時間)
自家用車
帯広市内から約45分(約30km)
帯広空港からは芽室ICまで高速利用で約1時間(約55km)
2.札幌市内から
電車&バス
JR札幌駅から帯広行特急「とかち」もしくは釧路行特急「おおぞら」に乗車、①JR新得駅か②JR帯広駅で下車
①JR新得駅まで約2時間、新得駅から北海道拓殖バス53系統「鹿追・新得・然別湖線」に乗車、「鹿追役場前」下車(約30分)、バス停から徒歩5分
②JR帯広駅まで約2時間30分
自家用車
札幌市内から車で約3時間(約180km)
*十勝清水ICまで高速利用
3.東京方面から
飛行機
羽田空港から帯広空港まで約1時間30分、空港連絡バスでJR帯広駅まで約30分
*新千歳空港利用の場合はJR南千歳駅で帯広釧路行特急に乗り換え

*駐車場は「道の駅しかおい」駐車場をご利用ください



〒081-0292 北海道河東郡鹿追町東町3丁目2
3-2, Higashimachi, Shikaoui, Kato, Hokkaido, Japan 081-0292
tel 0156-66-1555 / fax 0156-67-7855
http://kandanissho.com

神田日勝記念美術館 展覧会スケジュール 2022.4-2023.3



神田日勝 デッサン帳D-7より 1969年頃 個人蔵

Kanda Nissho
Memorial Museum
of Art